

項目	令和6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和7年 1月	2月	3月	
男女共同参画事業	男女共同参画啓発講座				●男女共同参画啓発講座(講演会) 【5/18】				●男女共同参画啓発講座(映画祭) 【12/7】				
	おとこのライフセミナー				●CSW68報告会【5/31】				●出前講座 (八幡東生涯学習センター尾倉分館)	●出前講座 (門司生涯学習センター大里分館)			
	高校生向け男女共同参画意識の啓発					●高校生向け男女共同参画講座			●国際理解セミナー		●研究報告会		
	語学講座(英会話)	英会話【1期】 4/10~7/3(全12回、水曜日)				英会話【2期】 9/11~11/27(全12回、水曜日)			英会話【3期】 1/8~3/26(全12回、水曜日)				
	エプロン男子	初級編【1期】 4/13~6/22(全4回、土曜日)				中級編【1期】 8/17~9/28(全4回、土曜日)		初級編【2期】 10/26~12/14(全4回、土曜日)		中級編【2期】 1/11~2/22(全4回、土曜日)			
	父と子の食育					●父と子料理(第1回) 【8/24】			●父と子料理(第2回) 【12/7】	●父と子料理(第3回) 【3/1】			
	介護男子						●介護男子(全3回)			●介護男子フォローアップ講座			
生活技術講座	おとこの魅力アップシリーズ				●汗とデオドラントケア&お洗濯講座 【6/14】		●育児男子 【9/21】	●パンde男子 【10/12】	●出前講座				
	創作工房					●親子で学ぶナチュラルクリーニング【8/3】				●出前講座 (門司生涯学習センター大里分館)			
女性のエンパワーメント事業	働く女性のためのフォローアップ・ネットワーク形成				●ムーブカフェ 【6/22】			●ムーブカフェ					
	働く女性に贈る!お役立ちワンポイントセミナー				●働く女性に贈る!お役立ちワンポイントセミナー 年間6回(原則土曜日または平日夜) キャリアアップ&ビューティー講座【4/13、27(全2回、土曜日)] ストレスケアの処方箋【5/17、24、31(全3回、金曜日)】			●働く女性のためのフォローアップセミナー					
	大学生のためのキャリア形成プログラム	大学生のためのキャリア形成プログラム											
	様々な分野での女性の参画推進講座						●様々な分野での女性の参画推進講座【10/5】						
	再就職支援				●介護事務講座(就職サポートセミナー含む) 6/6~7/31(全13回、火・木曜日)		●医療事務講座 9/3~11/26(全22回、火・木曜日)						
	パソコン講座	6期実施(2ヶ月ごと)4/2~											
生涯を通じた女性の健康支援事業	健康講座				●シェイプアップ・ヨガ【5/11~6/15(全6回、土曜日)] ふわっとゆるっと椅子ヨガ【前期】 【4/4~6/20(全6回、木曜日)]		●ふわっとゆるっと椅子ヨガ【中期】 【9/5~11/21(全6回、木曜日)]		●ふわっとゆるっと椅子ヨガ【後期】 【12/5~2/20(全6回、木曜日)]				
	リプロダクティブ・ヘルス/ライツ講座				●楽しく踊ろう健康ダンス教室【前期】 【4/2~6/25(全11回、火曜日)]		●楽しく踊ろう健康ダンス教室【中期】 【8/6~11/26(全15回、火曜日)]		●楽しく踊ろう健康ダンス教室【後期】 【12/3~3/25(全13回、火曜日)]				
	いまだきママのリフレッシュ講座				●いまだきママ【1期】 【5/14、28、6/11、25(全4回、火曜日)]		●いまだきママ【2期】 【10/8、22、11/5、19(全4回、火曜日)]						
市民活動支援・連携事業	ムーブサポーター				●サポート活動 ●サポート総会【6/9】								
	市民活動支援・連携	大学との連携事業											
相談事業	一般・人権侵害・元気アップ(就労)・男性・法律相談・ホットライン				●女性の権利ホットライン【6/26】 ●女性のための法律基礎講座【6/22】 ●男性のための無料法律相談会①【6/1】			●女性への暴力ゼロ!ホットライン ●女性への暴力ゼロ特別講座【11/20】 ●男性のための無料法律相談会②【10/26】					
	講座等												
ムーブフェスタ					●ムーブフェスタ 7/6~7/27		■7/6 オープニング講演会 ■7/6~ マガジンリサイクル ■7/20 サマーカーニバル、行列ができる?法律相談Q&A		■7/27 イベントステージ				
図書・情報室	事業				●おはなし会【8/2】		●おはなし会						
	刊行物				●6/10『ムービング』103号		●10/1『ムービング』104号		2/28『ムービング』105号	●啓発冊子 ●ジェンダー問題 調査・研究支援事業 報告書			
個人利用 ■フィットネス ■OAルーム		フィットネス、OAルーム【通年】											
パネル展示		男女共同参画週間 【6/23~6/29】		ムーブフェスタ【データDV予防】 【7/6~7/27】			女性に対する暴力をなくす運動【DV防止】 【11/1~11/30】		国際女性デー 【3/1~3/8】				

※5月15日現在の情報です。※日程等変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

Pick-Up

## おすすめ講座



初級から一步前進!

## エプロン男子 中級編

楽しく料理をしながら、あなたのレパートリーを増やしましょう。

日 時 8月17日、8月31日、9月14日、9月28日  
【土曜日、全4回】  
《午前コース》10:00~13:00  
《午後コース》14:00~17:00

定 員 各16名(抽選)

参加費 6,000円(4回分の材料費、エプロン代、保険代込)

パパと料理にチャレンジ!  
父と子の料理教室

お父さんと子どもで食の大切さと料理作りの楽しさを学びます。

日 時 8月24日(土)  
10:00~13:30

定 員 12組(抽選)

対 象 4歳から小学4年生までの子どもとお父さん(おじいちゃんも可)

参加費 大人1,000円、子ども600円  
(材料費、保険代込)

就職・転職に役に立つ!  
医療事務講座

医科2級医療事務技能検定の資格取得を目指します。

日 時 9月3日(火)  
~11月26日(火)  
【火・木曜日、全22回】

定 員 24名(応募者多数の場合は選考)

対 象 資格の取得を希望する女性

参加費 29,700円(テキスト代込)



## おはなし会

一緒に絵本の世界を

楽しめませんか?

年に2回、ムーブ図書室で

開催しています♪

お気軽にご参加ください!

日 時 8月2日(金)、12月(日付未定)  
10:30~11:10

定 員 7名程度(先着順)

対 象 3歳以下の子どもと保護者

参加費 無料

内 容 絵本の読み聞かせ

## 50代で一足遅れてフェミニズムを知った私がひとりで安心して暮らしていくために考えた身近な政治のこと

「良き妻、良き母、良き働き手であれ」、そして「輝け」と強いられながら給料も年金受給額も低くなっていく。そんな日本で高齢単身女性になることの不安に直面する著者の和田静香さん。議員数が男女半々の神奈川県大磯町に1年通い、どうやって「パリテ」を実現したのかを探っていく。

行き当たりばったりの取材をする和田さんの隣でそのつぶやきを聞くがごとく、共感したり、自分の思い出がよみがえったり。目で文字を追いつつも、頭の中はついつい「あの時の私」でいっぱい(笑)。

過去を悔やみ、自分の中に安倍晋三を見て、自分をスリッパでスパンッとはたきたくなる和田さん。独身か既婚か。子がいるか否か。働いているか否か。男性優位社会で女性たちはお互いに線引きをし合い、分断させられてきたのでは?と気づく。だが、大磯で出会った女性たちは皆、自分たちの場を持ち、町を自分たちでつくり上げている。背中を押された和田さんは、自身に「臆すること無く前へ進め」と語りかける。

彼女が「次にやりたいこと」として挙げる「政治の本が並ぶような本屋」「おしゃべりできる場所」は、私が広島で営むカフェ「ハチドリ舎」のコンセプトと重なる。事前に本を読んでいれば、一度お店に寄ってくれた和田さんとたくさんおしゃべりできたのに…今度会えたら、「この本を読んで私は、広島の女性議員たちに『女性議員を増やすイベントをしませんか』とメールしたんですよ!」と伝えよう。

Social Book Cafe ハチドリ舎 店主 安彦 恵里香さん



### パリテ

「同等、同量」を意味するフランス語であり、社会のあらゆる意思決定の場に男女が平等にかかわることを表す言葉として使われている。フランスでは2000年に通称「パリテ法」が制定され、選挙の際「比例候補者の名簿の記載順を男女交互にする」「男女50%ずつ候補者を擁立する」と義務付けた。導入後、フランスの国会では女性議員が約4倍に増え、男女平等の政治参画が促された。日本の国会は女性議員が30%に届いたことさえない。

## 私の「結婚」について 勝手に語らないでください。

人はしばしば「疎外」への恐怖から逃れるために結婚へと急かされる。なぜ「幸福」になるための唯一の方法が結婚とされるのか。なぜ誰かと支え合って生きるための方法が結婚だけなのか。韓国でエッセイストや放送作家として活躍する著者が、そんな社会に疑問を突き付けるべく、「非婚主義者」としての日常を綴ったエッセイが本書である。

著者が願うのは、結婚しようがしまいが、個人の選んだ生き方を他人に好き勝手に語られることがないような、「違い」を尊重し合える社会の実現だ。誰もが自分自身の選択にしたがって精いっぱい生きることができ、お互いをそのまま受け止め尊重することができる社会。「私」を勝手に語られないためには、「沈黙」せずに「語る」しかない。「非婚主義者」の訴えを通して、必ずしも「結婚」という枠組みに収まることのない／収まる必要のない、本来ありうるはずの人びとの多彩で豊かなつながりの可能性が浮かび上がってくる。

本書の主題は非婚だが、テーマは多岐にわたっている。著者は社会の隅々に存在する男性優位の構造や、肌の色をめぐるルッキズムの問題など、あらゆる固定観念にも切り込んでいく。押し寄せてくる社会からの圧力に押しつぶされないために、私たちができる具体的な抵抗の実践法や生き方のスキルをも教示してくれる。日々の生活に鬱屈や悩みを抱えているすべての人に向けて、背中を優しく押してくれる、エールに満ちた一冊だ。

慶應義塾大学 文学部 准教授 阪井 裕一郎さん



### 非婚共同体

結婚制度の外側で生きる非婚の人たちによって形成される共同体のこと。日常の不安を共に乗り越えるために助け合う仲間や支え合うつながりのあり方は本来さまざまでありうるだろう。しかし、結婚のみがそれを可能にするという思い込みが私たちの社会には根強く存在し、人々を縛っている。非婚であることが孤立に直結することがないよう、支え合うための多様なつながりの選択肢を社会が用意していかなければならぬだろう。



## 昨夜の記憶がありません

### —アルコール依存症だった、わたしの再起の物語

かつて飲酒する女性は少なかった。1954年に行われた酒類に関する世論調査で女性の飲酒率は13%に過ぎなかった。しかし女性の飲酒は次第に一般的になり、2013年の全国調査では63.3%と女性の飲酒率は増加した。これは女性の社会進出が進み外で飲酒する機会が増えたこと、メーカーにより女性をターゲットにしたマーケティングが行われたこと、「女性は飲酒すべきではない」という古い概念が薄れたこと等が影響していると推察される。女性は飲酒の自由を勝ち取った。

本書は2015年に刊行されたサラ・ヘボラのエッセイの訳書である。そこに登場するサラの母親も過去の日本の女性と同じく、酔っぱらった姿を家族に見せたりしなかった。一方サラ自身は男性に混じって彼らと対等に飲むことを是とし、あらゆる場面で積極的に酒を飲んだ。否、実際には飲んだつもりが飲まれていたのだ。彼女はブラックアウトを繰り返し、酒との危険な関係に身をさらし続けた。具体的な「しくじり」については本書を参照されたいが、取り返しのつかないことになる前に断酒に踏み切ったことは全くの幸運だったと感じる。

女性は飲酒の自由を勝ち取ったが、それは酒害との戦いの幕開けである。本書は断酒後サラが自分を取り戻していく過程にスポットライトが当たっているが、それでも断酒前の生々しいエピソードは私たちに酒の怖さを伝えてくれる。依存症であってもなくても酒を飲む人すべてに必読の一冊だ。

医療法人秀山会 白峰クリニック 精神科医 岩原 千絵さん



### ブロックアウト

飲酒により部分的、または完全に記憶を飛ばすこと。眠ったり気絶したりするのとは違い、周囲には普段と変わらないように見える。メカニズムとしては、血中アルコール濃度の急上昇により脳の海馬が機能しなくなることによる。体質や薬の飲み合わせなど個人差があるが、女性は一般的に男性より体が小さく体内の水分量が少ないため血中アルコール濃度が上がりやすく、ブラックアウトを起こしやすいとされる。

## 私の生理のしまい方

NPO法人ちえぶら 代表理事 ながた きょうこ 永田 京子さん

「最近、イライラが止まらない…」

「謎の不調…私はこれから、どうなるの?」

閉経前後の体に次々と起こる不調は、多くの女性が経験するもの。しかし、その実体験や対処法について詳しく語られることは意外と少ない。

『私の生理のしまい方』は、更年期を迎える多くの女性が直面する、心と体のバランスの乱れに焦点を当てた一冊だ。更年期に当たる時期は、ちょうど親の介護や子どもの巣立ち、仕事で責任ある立場に昇進するなど、環境が変化しやすい時期でもある。このような人生の大きな転換期に、自分の心と体にどのように向き合い、折り合いをつけて生きていくか。9人の女性の更年期に関するリアルな体験談が、著者の原あいみさんのマンガを通じて親しみやすく描かれている。

本書に出てくるエピソードに、「まるで私のこと!」と思わず共感したり、「私だけじゃなかった」と、不安や孤独感が和らぎ安心感を覚える方も多いはず。また、不調に寄り添う関口由紀ドクターのコラムや医学的な視点からのアドバイスも充実している。

時に更年期には、心と体が自分の思い通りにいかなくなることがある。だからこそ、積極的に自分を大切にしてほしいと願う。



原 あいみ 著  
関口 由紀 監修  
KADOKAWA  
2023年初版  
1,400円(税別)

自分自身や仕事、家族との関わり方を見つめ直すこと、新たな趣味や関心事を見つけ出すこと、また更年期について正しく知ること。これらすべてが、更年期を豊かで意味のある時期へと変えていくための一歩になる。本書には、そのためのヒントが詰まっている。

更年期は決してネガティブな時期ではない。「楽しい楽しい人生の後半戦」に向けて自分を更新する時である。「新しい自分」を見つけるチャンスにしていこう!

男女共同参画週間 6月23日(日)~29日(土)

## ●女性の権利ホットライン

6月26日(水) 10:00~16:00

弁護士がDV、ストーカー、セクハラ、離婚など、

女性の権利一般に関するさまざまな相談に電話で対応します。

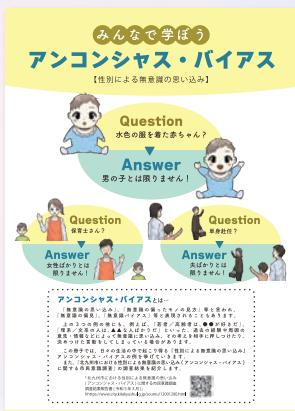
[対象]女性の権利一般に関する相談であればどなたでも

**093-591-9408 / 093-280-5325**

令和6年度 男女共同参画週間  
キャッチフレーズ

だれもがどれも  
選べる社会に

## 北九州市女性の輝く社会推進室からのお知らせ



性別による無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)の啓発動画を作成しました。令和4(2022)年に実施した「北九州市における性別による無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)に関する市民意識調査」を踏まえた内容となっています。

北九州市のホームページから視聴できます。ぜひご覧ください。

啓発動画はこちらから ➤➤➤➤

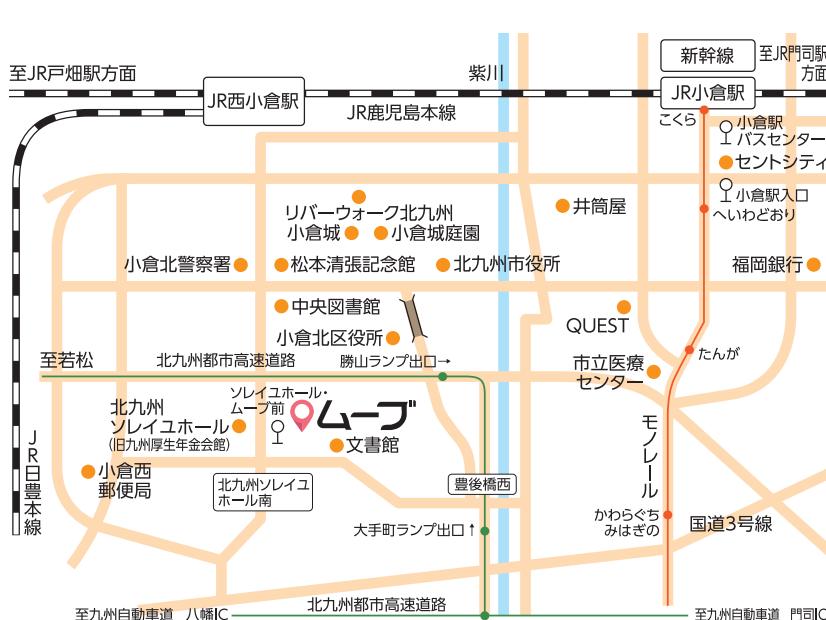
啓発リーフレットもダウンロードできます。

ぜひご活用ください。



▶ <https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/12001200.html>

【お問い合わせ】北九州市総務市民局女性の輝く社会推進室 TEL:093-582-2405



北九州市立  
男女共同参画センター

ムーブ

指定管理者 (公財)アジア女性交流・研究フォーラム

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11番4号

TEL:093-583-3939 FAX:093-583-5107

E-mail : move@move-kitakyu.jp

HP : <https://www.kitakyu-move.jp/>

アクセス
●JR西小倉駅から徒歩15分
●西鉄バス「ソレイユホール・ムーブ前」下車 【小倉駅バスセンターから】27 36 45 110 138 【小倉駅入口から】150 170 197 【天神バスセンターから】西鉄高速バス いとうづ号
●北九州都市高速 勝山ランプ・大手町ランプ出口より約3分
地下駐車場 100台収容(車高制限は2.1m) 30分ごとに100円 8:15~22:15(入庫は22:00まで)



Facebook



Instagram



ムーブHP